



JUNBA 理事会(第 184 回)議事要旨

日時: 令和 6 年 4 月 25 日(木)15:00~16:00

場所: 日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター(オンライン)

出席者: 16 名

【理事】丸山会長(桜美林大学)、North 副会長(大阪大学)、神山理事(名古屋大学)

【事務局】中別府事務局長・兼常務理事、池田副センター長、熊野、重田、Hughes(JSPS サンフランシスコ研究連絡センター)

【会員/オブザーバー】東澤(大阪大学)、岡田(名古屋大学)、三宅(立命館大学)、北島(京都大学)、青木(東京大学)、三宅(立命館大学)、熊谷(California Department of Public Health)、近江(在サンフランシスコ日本国領事館)

1. 会長挨拶(丸山マリ会長)

2. 理事会 議題・報告

JUNBA 事務局からのお知らせ

- ・前回理事会の議事要旨について、事務局から事前に追加・修正等の意見がなかったことが報告され、原案どおり承認した。
- ・国際協力員の交代及び新任紹介(熊野)が行われた。
- ・現在の団体会員数(17 大学(福岡女子大学が3月退会))及び個人会員数(37 人)について報告があった。
- ・各拠点の令和6年度の活動計画について別紙資料に記載をいただいたことについて連絡があった。
- ・JUNBA の年間の実施日時について丸山会長から説明があった。

3. メンバーの活動概要

桜美林大学-ウェブスター大学(ミズーリ州セントルイス、米国)パートナー訪問(令和6年3月に9日間実施)の内容(日本での各日のプログラム、訪れた場所、日本人学生と米国人学生との国際交流等)について丸山会長から紹介があった。そのことと関連して短期で日本に滞在した米国人の学生が体調不良になった際の事例から、短期で日本に滞在する学生に対する緊急事態を含めた各大学の対応について質問があった。

各大学からの回答は以下のとおり

- ・大阪大学……………緊急事態が発生に対しては旅行保険への加入で対応を行っている
- ・名古屋大学……………ノースカロライナ州立大学からの学生を受け入れているが、緊急事態については旅行保険での対応と併せて大学のシステムでの対応を行っている。ただし、現在

宿泊施設については学外の施設を使用する必要があり、その点が少々問題となっている。

京都大学……………いくつかのプログラムを運営しているが、フロリダ大学からの学生の受け入れについては、先方の方が宿泊施設や保険等のすべての費用を負担している。どのプログラムにしても宿泊施設の問題は大きな問題である。旅行保険については治療・救援費用の保険金額(支払い限度額)を無制限のプランにする必要があると考えている。

桜美林大学……………日本の保険だけでカバーしきれない部分があるので、アメリカの保険も併せて加入している。

丸山会長から5月23日開催のJUNBA理事会はJSPS サンフランシスコ研究連絡センターで対面とオンラインのハイブリッドで開催することが伝えられた。併せて、当日は国際交流基金ロサンゼルス事務所からゲストスピーカーを招き、講演を行ってもらう予定であるとの連絡があった。講演では、日本の大学を卒業した学生を対象とした様々な給与支給プログラムや、その他の助成金について話してもらう予定なので、ぜひご参加くださいとのことであった。

次回理事会及び総会の日程: 令和6年5月23日(木)15時00分～(PDT)
5月23日(木)18時00分～(EDT)
5月24日(金)7時00分～(JST)